

2013/1/28 17:20 現在

氏名	対象地域	考慮すべき主な災害・ハザード	対象の主体	研究・調査対象	研究・調査方法	研究・調査スケジュール	今後の進め方について
生田英輔	大阪府？						
磯打千雅子	地方都市	高潮、地震、津波	四国地域、香川県内行政、企業、住民、学校、病院	地域継続計画にかかる事項	ヒアリング、分析システムの開発、プランニング手法開発		
市古太郎	東京	火災					
大原美保	首都圏	津波・洪水		避難計画	GISを用いた分析		全国で津波避難施設が増設されているが、津波避難地・津波避難場所・津波避難ビル(津波一時避難場所)など、名称や定義が地域によってバラバラである。東日本大震災の教訓や、全国でのリスクを踏まえて、定義や望ましい機能、課題を整理し、提言としてまとめてはどうか。
小川雄二郎							
奥村与志弘	地方都市(兵庫県南あわじ市、愛知県田原市など)	津波	すべて	防災・避難計画、避難場所、避難方法	現地調査、ヒアリング・アンケート、シミュレーション	今年度は、南三陸を対象とした研究になりません。次年度以降、その成果を踏まえて西日本地域へ適用していく形です。	皆様のご意見等をいただいて、いい研究成果を出し、それを皆さんに還元できれば幸いです。
大森高樹	首都圏、名古屋、札幌	津波、洪水、高潮、群衆	自治体、事業者	防災・避難計画、避難方法、帰宅困難、情報	現地調査、シミュレーション	年度ごとに防災関連業務を受託した段階でスケジュールが確定	首都圏のなかでも特に駅や地下における避難問題について、減災研究に取り組みたいと考えています。
久保智弘	首都圏	地震災害	超高層建築の管理者、在館者	初動対応計画、被害想定	・負傷者の発生については、振動台を使って実験を行い、負傷者推定方法を精度よく行うためにデータ収集を行う ・東日本大震災での対応や被害、負傷者の発生メカニズムについて文献調査などにより情報収集を行う ・超高層建築の初動対応計画については、実際の超高層建築の管理者にヒアリングや現地調査を行い進めていく	・今年度は東日本大震災での被害状況や対応方法について、ヒアリングや文献などにより情報収集を行う。 ・負傷者推定の実験については、次年度以降実施予定 ・現在超高層建築の地権者による防災対策会議に参加しており、引き続き情報収集を行う	
小山真紀	関西圏(京都、大阪など)	地震や津波などのハザード		持続可能な避難計画			
末松孝司							
久田嘉章	首都圏	地域特性に応じたマルチハザード対策	・新宿駅周辺地域では、新宿駅周辺防災対策協議会(地元自治体・事業者) ・北千住地域は、自治体・住民・事業者など(予定)	・新宿駅周辺地域では、帰宅困難・要援護者・多数傷病者・避難計画など ・北千住地域は、避難計画・方法など(予定)	・GISを用いた分析 ・新宿駅周辺地域では、新宿駅周辺防災対策協議会を通じた諸活動(セミナー・講習会・訓練など) ・北千住地域では、文献・現地・ヒアリング調査(予定)	・新宿駅周辺地域では、講習会・セミナー等は既に実施中。2013年1月17日に訓練予定 ・北千住地域は、まだ計画段階	・2年後の報告書に向けて、各自の研究調査計画の確認と調整 ・他の部会と連携して、大会でのスペシャルセッション、シンポジウム開催、論文集特集号の企画・発刊
廣井 悠	名古屋市、東京？						
真船 奨	首都圏	延焼火災、津波、群衆	事業者	防災・避難計画、避難方法、帰宅困難	現地調査、シミュレーション	現在調整中	首都圏における避難問題について、減災の一助となる研究に取り組みたいと考えています。
森伸一郎	地方都市	津波、洪水、土砂災害	住民、自治体	避難行動(心理、方法、場所、誘導、施策、計	文献等調査、現地調査、ヒアリング・アンケート	未定	どのように貢献できるか、参加して決めていきたい
ユンナミ (伊南二)	首都圏	群衆	住民	避難方法、帰宅困難	アンケート、文献等調査、現地調査	2012年6月 - 2013年3月	Develop ontology for effective evacuation based on extracted essential attributes